あまにゅう

青森県青年海外協力協会(AOCA) 広報誌
平成22年12月号（2010.12）
発行:　青森県青年海外協力協会
編集担当: 大賀重樹(5－1ホンジュラス)

ボランティアをささえるのは、家族の絆

会長　　大賀重樹(H5－1 ホンジュラス共和国 小学校教諭)

これから青年海外協力隊員として派遣される若い人達の壮行会に出る度、ご家族の心配は並大抵のものではないだろうなと考えます。海外に行くことが初めての隊員もいれば、一人っ子の隊員もいます。大学を卒業して間もない隊員もいます。中には、まだ父親に話せずにいる隊員もいたりします。そんな状況の中でも、青年海外協力隊員として派遣されることを選んだ若者は、まだ見ぬ任国に向けて旅立つのです。

今年 11 月、青年海外協力隊員として派遣中の留守家族の方に集まって頂き、留守家族連絡会を開催しました。11 月末現在、県内から派遣されている隊員は 33 名ですが、集まられた留守家族は 38 名でした。ご両親や兄弟の方の関心が高いことを再認識しました。留守家族の方々は、派遣されているお子さんの無事を何より願っておられました。また、帰国後の進路についても真剣に意見交換され心配されていました。

私も今から 17 年前に同じように青年海外協力隊員として派遣されていたのですが、恥ずかしながら留守家族である親や姉妹のことなど、ほとんど気にかけていなかったことを思い出しました。ですが今は、4 人の子どもの父親となり、親御さんの気持ちを考えられるようになった自分がいることにも気づかされました。今回の留守家族連絡会を開催してみて、ボランティアを支えているのは、紛れもなく家族の絆だと確信しました。

青年海外協力協会広報誌「あまにゅう」は、主に青森県出身の青年海外協力隊の参加経験者からなる団体の広報誌です。この広報誌を発行することを通して、県内在住のＯＢ・ＯＧの情報交換をするほか、私たちの活動に興味のある方々に私たちの活動についての理解を求めるとともに、国際協力・国際理解の輪を広げることを目的として発行します。

「あまにゅう」の由来

「あまにゅう」は八甲田をはじめとした、高山にあり、きれいな白い花をさかせる植物です。普段は人知れず咲いているのですが、一旦山に登ると大きくてはっきりと確認できる植物です。青森に住んで、世界のことを考えながら決して途上国への情熱を忘れない、そんな協力隊経験者と通じるところがあるようで、機関誌を作ったときにその名前を採用されました。

なお、名付け親は川村宏義氏「あまにゅう」の初代編集者です。

２２年度２次隊が出発！

9 月 14 日（火）に県庁表敬を行い、蝦名副知事を訪れました。表敬では話が弾み、予定の時間を超えるほどでした。今回は、ＳＶを入れて３名の派遣です。早速、２名から元気なメールが届いています。４面をご覧下さい。

（右）石藤可苗隊員（八戸市・ガーナ・青少年活動）
（中）澤野慶太隊員（八戸市・セネガル・体育）
（左）安田美代ＳＶ（鰺ヶ沢町・タイ・美術工芸）

安田さんのＨＰです。http://miyo-miyo.at.webry.info/

夜には、恒例の壮行会を青森市内で行いました。お三方ともパワフルで、少々のことには動じないタフな心臓の持ち主です。安田さんは、ご主人も一緒にタイに行かれます。元気に活動して下さい。ＨＰやブログもチェックできる時代になりました。

22 年度３次隊も年明けに派遣

今回派遣されるのは JOCV ３名、SV １名です。12 月 14 日（火）に表敬を行い、夜は壮行会を行いました。出国は年明けです。元気に旅立って下さい。

今野　真之隊員（チリ　村落開発普及員　弘前市）左から二人目
外崎美佳子隊員（ウズベキスタン　保健師　むつ市）右から二人目
工藤　志保隊員（ベナン　看護師　七戸町）右端
木立孝志ＳＶ（ザンビア　自動車工学　青森市）左端

木立さんは、今回で三回目の派遣となります。風格さえあります←

留守家族連絡会に大きな反響

JICA ボランティア留守家族連絡会には、今までになく多くの方々が参加下さり、大変収穫の多いものとなりました。青森県での開催は、ここ８年以上無かっただけに今回の開催は意義深かったと思います。

【下田会場】11 月 14 日（日）13：00～16：00　イオン下田２階イオンホール　　参加留守家族 22 名

【津軽会場】11 月 21 日（日）13：00～16：00　イオンつがる柏２階イオンホール　参加留守家族 16 名

初めてお会いする留守家族の方々でしたが、派遣隊員との県庁表敬や壮行会、メールのやりとりなどの様子を情報交換するうちに打ち解け、連絡会は和やかなムードで進みました。会の最後にアンケートをとり、参考になった内容を聞きました。（なお、回答は 26 名の方から頂きました）

〇帰国隊員による活動報告（21 名）

〇ＪＩＣＡ・ＪＯＣＡによる帰国進路報告や情報提供（14 名）

〇同時開催の国際協力写真展（13 名）

〇ＪＩＣＡからの事業説明や安全対策（13 名）

〇留守家族同士の情報交換（12 名）

などがあげられ、２６名中 17 名が大変よかった、残り８名もよかったとの回答でした。開催してよかったと安堵しました。

来年度以降の開催についても、開催場所を吟味して開催したいと考えています。たくさんの方のご協力ありがとうございました。また、自由記述の欄には、「多くの情報が共有でき大変よかった。」「国内での就職情報や体験が聞けて安心しました。」「いろいろ分からない情報を聞けて安心しました。」等の意見がありました。今後ともどうかよろしくお願い致します。

参加者の自己紹介だけでも盛り上がりました！

JICA 東北の小野支部長の説明も真剣

帰国後、青森県内への就職はなかなか厳しい現実・・・。

20－1 セネガル OG 向谷地百合子さん（職種：助産師）による活動報告に聴き入りました

国際協力写真展　２週連続開催

昨年の青森開催を受けて、今年度はイオンモール下田とイオンモールつがる柏の協力を得て、２週続けて、国際協力写真展を開催しました。帰国した隊員の活動時の写真の他、現在派遣中の隊員からも写真を送ってもらい、パネル展示しました。会場には、週末ということもあり、家族連れの方も多く見られました。将来、必ず協力隊員としていきたいと言う高校生も何人か来ていてとても頼もしかったです。
また、留守家族の方や来年度派遣される予定の方も来られていました。
今後も写真展を開催しますのでどうかお楽しみに！！

青年海外協力隊員ＯＶによる帰国報告

11 月 13・14 日　イオン下田会場では
（向谷地百合子 OG　20－1　セネガル　助産師）
（対馬千佳子 OG　　16－2 ボリビア　村落開発普及員）

11 月 20・21 日　つがる柏会場では、
（成田祥子 OG　20－1　ラオス　看護師）
（川村彩子 OG16－1　ブルキナファソ　稲作）

世界各国の民芸品や楽器の展示
各国の民族衣装展示
DVD による活動紹介
お気に入り写真のカード作り

ＤＶＤ映像があると、活動の様子もわかりやすかったようです

楽器はいつも子どもたちに大人気でした

ボリビアでの活動報告をする對馬ＯＧ

秋募集説明会、無事終了

この秋募集から弘前会場での開催がなくなりました。今後、別の形ので開催を検討していきたいと考えています。

１０月２日（土）に青森の説明会が無事終了しました。参集者は、9 名でしたが、個別相談会もじっくりできしました。参集者の方々とお話をする中で、ボランティアへの熱い思いを聞き、何とか実現できるよう手伝えることがあればと、我々ＯＢＯＧは、常に考えています。

１０月１６日（土）に八戸の説明会も無事終了しました。高校生３名を含む１２名が参加されました。（男性８名、女性４名）個別相談も実施し、予定の 20 分という時間を過ぎても個別相談が熱を帯びるということもありました。説明会だけで時間が足りない場合は、別途、時間を設定して出席者の相談にものっています。

ＪＩＣＡボランティアへの相談等は、青森ＪＩＣＡデスクの越善まで気軽にお寄せ下さい。電話０１７－７３５－２２４９

八戸会場「個別相談には、何でも話せるよさがあります」

JOCA 東北ブロック会議も同時開催！！

11 月 13・14 日の両日、東北町のカワヨグリーン牧場を主会場に開催されました。JICA 東北の小野支部長の他、JOCA より小嶋課長、佐藤主任も参加されました。JICA、JOCA より事業報告や現状の問題について説明がありました。また、各県の活動報告の他、情報交換も夜を徹して行われました。主な協議事項配下の通りです。**どの地域も同じような課題を抱えていることがわかりました。**

〇会員の範囲をどこまで広げるか。（シニア、日系青年ボランティア）
〇会報や支援経費をどう活用していくか。
〇募集説明会の取組みの工夫にはどんなものがあるか。
　OV の参加状況、独自の取組み
　協力隊ナビや1次･2次試験対策も有効ではないか
〇主催事業をどう展開していくか。
　各種行事･スタディツアー･出前講座等
〇関連団体との連携はどうするか。
　育てる会･学生団体や他の国際ボランティア団体

２日目はイオン下田の写真展の会場で実施

海外派遣中の協力隊員の皆さんからのメール紹介

メール「ありがたい・うれしい！！」　パート１

AOCA の関係者の皆さま、初めてメールいたします。22 年度 2 次隊澤野慶太です。派遣国はセネガル、職種は体育です。セネガルの首都ダカールから、このメールを送っています。私も同期の石藤さん同様、昨日ティエスという町で行われていた語学研修が終わりました。今はダカールに一度戻り、11 月初めの任地配属に備え、準備をしているところです。任地のファティック市は現在日本人がおらず、一人での寂しい生活となりますが、近くの先輩隊員、また調整員のみなさんがいるので心強いです。

ホームステイ&語学訓練の様子から

セネガルはなんと、JOCV が派遣されて今年で 30 周年です！記念式典はフランス語と現地語オンリーだったので、正直ちんぷんかんぷんでしたが長い歴史の中にいる自分を実感でき、やる気がみなぎってきました。まずは任地での生活を確立することと、職場でのコミュニケーションを目標にがんばります。また、定期的に活動のようすや写真を発信できればと思います。ＯＢの皆さまからもアドバイスなど頂く時があるかと思いますので、そのときは宜しくお願い致します。ブログも定期的に更新していく予定ですので、もしよろしければご覧ください。

メール「ありがたい・うれしい！！」　パート２

AOCA の皆さま　表敬訪問や壮行会ではお世話になりました。ガーナに青少年活動で派遣されている石藤可苗です。9 月 28 日に日本を出発して、無事にガーナで生活しています。おとといに任地のホームステイから首都アクラに帰ってきて、昨日やっとモデムを購入しました！壮行会では、お心遣いありがとうございました。たくさん写真を撮ったほうがいいとアドバイスいただいたので、ハードディスクを購入させていただきました。ありがとうございました。ガーナでは驚くことたくさんです。いよいよ 11 月 3 日から任地に本格的に赴任します。日本はこれからどんどん寒くなると思うので、お体にはくれぐれもお気をつけて。（２０１０．１０．１５）

メール「ありがたい・うれしい！！」　パート３

こんにちは、21-1 の三上です。ラオスは今年、遷都 450 周年でもあり、11 月 21 日はタートルアン祭りでした。帰国半年前の健康診断と重なったので（ほんとはあと 7 ヶ月あるのですが）ちゃっかり行ってきました。お花と蝋燭をもって、タートルアンという金ぴかのお寺を時計回りに3周しながらお祈りします。朝はうちの先生と托鉢に行ってきました。「5 時に迎えに行くから」と言われて実際来てくれたのが 6:20。その後先生の息子さんのお嫁さんのお母さんのお友達が来てないとかでさらに待つこと30分。連れて行ってもらえてよかったけど、次の日 38.6℃出ました。。。健康診断で首都に行って寝込むなんて．．．^^;（21-1・ラオス・理数科教師・三上佳津江）

メール「ありがたい・うれしい！！」　パート４

AOCA の皆様、いつもお世話になっております 20-3 次隊セネガル派遣中の佐々木です。写真を開催されるとのこと私の家族は参加しませんが、メッセージだけでも送らせてください。「セネガルも北半球に位置していて、徐々に涼しくなってきています。日本との時差－ 9 時間のセネガル、11 月 17 日にイスラム教最大のお祭り犠牲（タバスキ）が開催されます。相変わらず平穏な日々、ジャムレック（挨拶の言葉 「平和のみ」）が似合う国で、元気に暮らしています。追伸：任期延長が決まり、5 月に帰国することになりました。（2010．11．12）

ＪＩＣＡボランティアへのご質問は、常時受け付けています

何かがきっかけで、ボランティアの目覚めるときがあります。そんなときには気軽に

ＡＯＣＡのＨＰへおいで下さい。http://philo-sophia.me/aoca/

今月以降の主な予定と情報

１２月１１日（土）	ＡＯＣＡ大忘年会（大鰐町　正観湯温泉旅館）
１２月１８日（土）	ＪＯＣＶ二次試験対策勉強会（青森市　水産ビルにて　13：00）
１月　４日（火）	派遣隊員への新聞発送及び「あまにゅう」発送（青森市　水産ビル　13：00）
２月　下旬	中学生・高校生エッセイコンテスト表彰式（青森市　水産ビル）
３月　下旬	22 年度 4 次隊県庁表敬及び壮行会（青森市内）
３月　下旬	「あまにゅう」発送作業（青森市　水産ビル）

行事への多くのＯＢＯＧの参加をお待ちしています。また、一般の方で関心がある方も連絡をお待ちしています。詳細は、JICA 青森デスク（017-735-2249）または大賀会長（momotarooga@ybb.ne.jp）までお気軽にお問い合わせください。